
お泊りの夜に・・・

音符

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お泊りの夜に・・・

【Nコード】

N9439E

【作者名】

音符

【あらすじ】

この小説はコ哀です^^しかもラブラブ・・・ってことで新蘭派の人・・・あまりおすすめできません><ある日哀の家にコナンが泊まりに来て・・・!?

(前書き)

前にも書きましたがコ哀です^^あとチューとか苦手な人もBAC
Kお願いします><

私の名前は宮野志保。

でも今はA P T X 4 8 6 9で体が幼児化してしまい灰原哀として生きています。

私には今付き合ってる人がいる。

江戸川コナンっていう私と同じA P T X 4 8 6 9を飲んで体が幼児化してしまった人。本名は工藤新一。

組織も壊滅させ私達は中学2年生になっていた。

○。○。○。○。○。○

今は夏休み。私はコナンと家にいた。

哀

「コナン、コーヒー入れたんだけど・・・飲む？」

「お、サンキュー哀」

いつもの当たり前の光景。ちなみに阿笠博士とはというと学会で九州に行っていて明後日まで帰ってこない。

そこで心配してくれたコナンが泊まりに来たのだ。

コ

「そろそろ夕食の時間だな」

哀

「そうね。今作るから待ってて」

哀が夕食を作っている間コナンは推理小説を読んでいた

哀

「コナンく、夕食できたわよーっ！」

コ

「ああ、今行く」

コナンと哀は仲良く夕食を食べ終わると、ソファーでくつろいでいた。

コ

「哀・・・俺、今すごく幸せだ。哀の手料理食べられて、哀とうして一緒に居られて」

哀

「わたしもよ、コナン。貴方と居られてすごく幸せ」

するとコナンは哀を抱き寄せ、耳元で

コ

「哀・・・大好きだ」

と囁いた。哀も

哀

「私も大好きよ・・・コナン」

と言い、2人はお互いの唇をそつと重ねた。

それから2人は順番にお風呂に入り、寝る準備をしていた。

哀

「おやすみ。コナン」

と言って自室に戻った哀はなかなか眠れなくて少しだけ本を読む事にした。

しばらくすると・・・

「私も・・・？」

と聞き返された。そして・・・

哀

「聞かなくても分かるでしょ／＼／」

コ

「分かるけど、聞きたい」

哀

「／＼いじわる・・・」

コ

「いいだろ、別に」

哀

「／＼／＼分かったわよ。私も貴方が大好きよ・・・愛してるわ
／＼／＼／」

私は顔をさつきより真っ赤にして言った。

そして私達は一緒のベッドで仲良く眠った・・・。

- END -

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9439e/>

お泊りの夜に・・・

2010年10月19日13時47分発行